

2010年度

科目名	歴史地理学B		
担当教員	塚口 義信		
配当	文 3・教育3・人間3	コード	12210
開期	後期	講時	月曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	歴史地理学における「地名」と「交通」の重要性		
目的と概要	歴史地理学とは一言でいえば、人文地理学的な現象を歴史的に研究する学問である。その対象とする領域は産業・文化・集落・交通・人口など多岐にわたるが、本講義では主として「地名」と「交通」を手がかりに地域の特性を探り、古代日本の新しい歴史像を提案する。なお、皆さんのご都合がよければ、臨地講義も行いたいと考えている。		
成績評価法	試験70%、授業時のレポート15%、平常点15%		
テキスト	使用しない。		
参考書	授業中に適宜紹介する。		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
第 1 回	はじめに—授業の目的と内容—		
第 2 回	5世紀代の巨大豪族・葛城氏の実像を探る (1)		
第 3 回	5世紀代の巨大豪族・葛城氏の実像を探る (2)		
第 4 回	5世紀代の巨大豪族・葛城氏の実像を探る (3)		
第 5 回	5世紀代の巨大豪族・葛城氏の実像を探る (4)		
第 6 回	葛城の一言主大神と雄略天皇 (1)		
第 7 回	葛城の一言主大神と雄略天皇 (2)		
第 8 回	臨地講義 (予定)		
第 9 回	蘇我氏とヤマト政権		
第 10 回	蘇我氏のルーツを探る		
第 11 回	蘇我蝦夷と蘇我入鹿 (1)		
第 12 回	蘇我蝦夷と蘇我入鹿 (2)		
第 13 回	蘇我蝦夷と蘇我入鹿 (3)		
第 14 回	古代における地名の重要性		
第 15 回	まとめ		